



お元気ですか
志村 たかよし です

第424号 2009年1月11日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

2009年は「生きる」ための「たたかい」「連帯」の年 日比谷公園「年越し派遣村」のボランティアに参加



高橋副区長(右)から状況を聞く私(左)＝派遣村で

2009年、新しい年を迎えました。
しかし、今年は、心から「おめでとう」と言える雰囲気ではありません。
「派遣村」でボランティア
年末年始のニュースで注目されたのが、日比谷公園の「年越し派遣村」でした。
「派遣切り」などの首切りで仕事と住居を失った人たちが年を越せるよう支援するために、労働組



全国から寄せられた食料物資

合や市民団体、ボランティアの方々で設置されました。

私(志村)も、ボランティアに登録するとともに、さっそく炊き出しの案内整理に参加しました。
食事の順番を待つために整然と並び「入村」した方々と、動き回るたくさんのボランティアの方たちが印象的でした。

会場内での写真撮影は、基本的にノーでしたので、全国から寄せられた食糧をカメラに納めました。

中央区が宿泊場所を提供

2日夜、中央区が二つの旧小学校の体育館を宿泊用に提供するというニュースが全国に流れました。

翌日、党区議団は、区役所に設置された対策本部を訪れ(吉田副区長、斎藤総務部長、小泉企画部長がいました) 激励するとともに区の対応を聞きまわった。

また、日比谷公園「年越し派遣村」の現地では、高橋副区長から現状を聞き取りました。(上写真)



移動先の京華スクエアを訪問

区が提供するものは、京華スクエアと（旧京華小学校）と十思スクエア（旧十思小学校）の二施設です。

党区議団と党都議団、桑名文彦都議予定候補、中島つかね衆院予定候補は、5日、京華スクエアを訪ね、受け入れ準備をしている区職員の方々をねぎらうとともに、夕方、国会へのデモ行進を終えてバスで移動してきた「派遣村」の労働者たちを激励しました。



多くの区職員が体育館で受け入れ準備をしていました



京華スクエアで受付をする「派遣村」から来た人たち

昨年末、緊急対策を

区長に申し入れ

党区議団は、昨年12月24日、「雇用とくらしを守る緊急対策」を区長に申し入れていました。

私の経験から、年末になると借金取り立てや住宅問題などの相談が増えるため、「年末年始、区役所は休みになる。今年は、相談窓口を開き緊急の対応が出来るようにして欲しい」と強く求めました。その提案は、拒否されてしまいました。

今回、1月2日に、区長が日比谷公園の「派遣村」を訪れ、実態を目的の当たりにして施設提供の決断をしたといわれています。

しかし、ボランティアや自治体の努力だけでは限りがあります。国や都による抜本的な緊急対策、雇用対策が求められています。

「雇用とくらしを守る緊急対策」を区長に申し入れ

日本共産党区議団は、十二月二十四日、矢田区長に、「暮らしと雇用・中小企業を守る緊急対策について」の申し入れを行いました。

「区役所・福祉事務の窓口が例年より長い年末年始休業に入るため、緊急に対応できる年末年始の相談窓口体制をとる」と。

申し入れには中島つかね衆院東京二区予定候補が同席しました。申し入れの内容は、

「失業した派遣労働者など非正規労働者、内定取り消し者などへの相談・支援窓口体制を区として設置すること。」などとともに、中小企業対策が含まれています。

区長は「要請は承りました」「十二月の中央区景況調査も過去最悪のデータだった。区としても緊急対策を考えている」「スピード感をもって実施したい」と述べました。



私(右)が区議団の「緊急申し入れ書」を、中島つかね氏(右2人目)が党の「緊急経済提言」を区長(左)に渡しました = 12/24

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03)5336-0300